

貸借対照表

(平成19年 2月 28日現在)

株式会社J・スタッフ

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	594,830,135	流動負債	401,031,293
現金及び預金	211,743,879	未払金	336,674,946
前払費用	10,726,901	預り金	4,516,277
未収金	346,154,130	未払法人税等	28,063,500
立替金	20,336,964	未払消費税等	29,144,570
短期繰延税金資産	5,868,261	賞与引当金	2,632,000
固定資産	18,765,783	負債の部合計	401,031,293
有形固定資産	6,778,851	純資産の部	
店舗造作	5,001,821	株主資本	212,564,625
什器備品	1,345,643	資本金	15,000,000
車両運搬具	431,387	利益剰余金	197,564,625
無形固定資産	946,174	利益準備金	3,750,000
電話加入権	946,174	別途積立金	102,000,000
投資その他の資産	11,040,758	繰越利益剰余金	91,814,625
投資有価証券	3,000,000		
差入保証金	7,470,590		
長期繰延税金資産	570,168	純資産合計	212,564,625
資産の部合計	613,595,918	負債及び純資産の部合計	613,595,918

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

店 舗 造 作	定額法
什 器 備 品	定率法
車 輛 運 搬 具	定率法

(2) 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金	従業員および使用人兼務役員に対して支給する賞与に備えるため 平成19年7月支給見込額のうち当期負担相当額を計上しております。
-----------	---

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(5) 当事業年度より、会社法及び会社計算規則に基づき計算書類を作成しております。

(6) 会計方針の変更

貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準の適用

当事業年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

なお、従前の資本の部の合計に相当する金額は、212,564,625円であります。

2. 貸借対照表の注記

有形固定資産の減価償却累計額	3,159,576 円
----------------	-------------

3. 損益計算書の注記

関係会社との取引高

売上高	2,933,975,074 円
販売費及び一般管理費	17,786,967 円

4. 税効果に関する注記

繰延税金資産の発生 の主な原因別の内訳

賞与引当金	1,098,597 円
未払法定福利費	135,112
未払事業税	3,923,560
給与計算ソフト経費処理分	855,252
一括償却資産	425,908
<hr/>	
繰延税金資産合計	6,438,429 円

5. リース契約により使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している車両、電子計算機等があります。

6. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	7,085 円 48銭
(2) 1株当たり当期純利益	2,146 円 79銭

1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次の通りであります。

損益計算書上の当期純利益	64,403,739 円
普通株式に係る当期純利益	64,403,739 円
普通株式の期中平均株式数	30,000 株

7. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。